

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことのはプラス-彩り-石垣教室		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 5日		～ 令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 5日		～ 令和 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 13人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な職種の職員がいて、それぞれの目線で児童生徒を見守り、考察した内容を共有し支援に活かす事が出来ている。	・保育士や言語聴覚士、理学療法士、社会福祉士が在籍しており、いろいろな視点で療育に関わる事が出来ている。 ・ミーティングを活用して職員間の情報共有を活発に行う。	・ご家庭や学校等での困り感をいろいろな視点からアイデア等を出し合い、児童生徒に合わせた療育が提供出来るようにしたい。 ・また、集団療育の質を高めていきたい。
2	・小学生、中学生と年齢に応じた支援を提供する事が出来る。	・小学生には、集団遊びやサーキット運動等の運動療育を提供する事が出来ている。 ・中学生には、グループワークや調理実習、職場体験等自立を目指した取り組みを提供する事が出来ている。	・児童の運動能力や特性に合わせて小集団で分けるなど、運動療育の内容を工夫していきたい。 ・酪農体験や離島へのお出かけなど、今後実施予定の取り組みを計画・実行へ移していきたい。
3	・定期的に面談や子育てに関する助言等の支援を行っている。	・セルフプランのご利用者様の保護者様には、定期的に声をかけ、学校や自宅の様子の共有、事業所での様子の報告を行っている。 ・保護者様から相談があれば、相談内容に適した職員が対応し、ミーティングで職員間でも内容共有を行っている。	・面談等に関しては、管理者が行うケースが多い為、保育士や言語聴覚士、理学療法士などの同席の機会を設け、それぞれの目線の助言を行えるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会の参加開催や保護者様との交流の場が少ない。	・保護者会や交流会の時間の確保。 ・保護者会開催の目的や意義が明確でない場合、参加への意欲が低くなる可能性も否定出来ない為、具体的な目的の設定や柔軟な開催方法を検討する必要がある。	・保護者様が参加しやすい環境を整え(オンライン開催等)、保護者会のテーマや目的を明確にし、議題に沿った進行を行う事で、参加者にとって有益な内容を提供していきたい。
2	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等の周知が行き届いていない。	・各種マニュアルの作成は行われているが、契約時に確認を行うのみなので、今後は、周知・説明する機会を更に設けていく必要がある。 ・訓練は実施しているが、全体への周知は不十分だった。	・今後も各種マニュアルの説明を保護者様へ丁寧に言い、訓練後は保護者様全員に報告する等して、保護者様への周知を行ってきたい。
3	・地域交流を深めていきたい。	・児童館や地域の公共施設へ出向く機会があったが、地域の子どもとの交流の機会はなかった。	・児童館や図書館など、地域の公共の場での取り組みも行う。 ・地域のイベントへの参加や定期的に屋外活動の時間を設けるなどして、地域のお友達と交流する機会を設ける。